

横須賀市天神島・笠島周辺海域の後鰐類 (追補)

萩原 清 司 *

An additional list of Opisthobranchia (Mollusca: Gastropoda) in Tenjin-jima and Kasa-jima, Yokosuka City, Sagami Bay

HAGIWARA Kiyoshi*

キーワード：後鰐類, ウミウシ, 分布, 相模湾

Key words: **Opisthobranchia, sea slug, distribution, Sagami Bay**

萩原 (2006) は, 2002 年 6 月から 2005 年 9 月に実施した横須賀市自然・人文博物館附属天神島臨海自然教育園の周辺海域における後鰐類相調査によって, 5 目 22 科 91 種を確認・報告した。その後 2009 年 9 月までの継続調査により, 同水域から新たに 12 種の後鰐類を確認し, 出現種の合計は 5 目 23 科 103 種となった。

Twelve species of the sea slugs were additionally recorded to the sea slug fauna in Islands Tenjin-jima and Kasa-jima, Yokosuka City, Sagami Bay. Totally 103 species were recorded from that area.

はじめに

萩原 (2006) (以下, 前報) は, 相模湾の東岸に位置する横須賀市自然・人文博物館附属天神島臨海自然教育園周辺海域における生物相調査の一環として, 2002 年 6 月～2005 年 9 月にスノーケリングと磯観察による調査を実施し, 5 目 22 科 91 種の後鰐類について目録を作成し, それらの出現傾向について報告した。ここでは, その後 2005 年 9 月～2009 年 9 月まで実施した同水域の継続調査により新たに確認された 12 種の後鰐類について報告する。

本報をまとめるにあたり, 横須賀市大楠漁業協同組合および横須賀市自然・人文博物館の馬場 正, 田中雅宏 (現日本大学生物資源科学部博物館) の両氏には現地調査に協力いただいた, ここに記して感謝の意を表する。

研究材料と方法

本調査では, 2005 年 9 月～2008 年 3 月の 29 ヶ月間に毎月 1～2 回のスノーケリングによる採集および大潮の干潮時には潮間帯の磯観察を, 2008 年 4 月～2009 年 9 月には大潮干潮時の潮間帯の磯観察のみを実施し, 出現種について写真撮影または標本採集と写真撮影を並行して記録した。収集した資料は原則として一旦冷凍した後, 10%ホルマリン水溶液で固定し, 70%エタノール水溶液に置換して横須賀市自然・人文博物館軟体動物資料 (YCM-H) として保存した。また, 収集標本については生鮮時に写真撮影を行い, デジタル画像が横須賀市自然・人文博物館に保管されている。なお, 資料の同定にあたっては主として中野 (2004) に従い, 生物学御研究所編 (1949, 1955), 小野 (2004), 奥谷編 (2000) を補足的に用いた。

* 横須賀市自然・人文博物館 Yokosuka City Museum, Yokosuka 238-0016.

天神島周辺海域産後鰓類目録 (追補)

凡例

1. 学名・和名と分類群 (目・亜目・科・種) の配列は中野 (2004) に従った。未同定種は科または属の末尾に表した。
2. 目録のデータに関する配列は、下記の a～d の順に表した。
 - a. 資料登録番号: 横須賀市自然・人文博物館軟体動物資料番号として、YCM-H で表した。
 - b. 写真番号: 各種の写真の図中番号を示した。
 - c. 採集日: 各標本の採集日を 6 桁の数字 (例; 2007 年 8 月 4 日 → 070804) で表した。
 - d. 調査結果および文献による各種の情報の概要を記した。また、出現頻度および各種の体長または殻長については調査中の観察に基づいて記した。

CEPHALASPIDEA 頭楯目

Aglajidae カノコキセワタ科

Chelidonura hirundinina (Quoy & Gaimard)

ニシキツバメガイ

標本資料なし; 第 1 図; 070804; 体長約 25 mm の個体が水深約 1.5 m の砂の堆積した岩礁上で撮影されたが、標本は得られていない。インド - 西太平洋の熱帯・亜熱帯域を分布の中心とする種で、相模湾では稀。

NOTASPIDEA 背楯目

Pleurobranchaeidae カメノコフシエラガイ科

Pleurobranchus forskalii (Rueppell & Leuckart)

ゼニガタフシエラガイ

YCM-H8963; 第 2 図; 060922; 水深 3 m の岩礁間の砂礫底で、体長約 80 mm の個体が観察された。背部に鱗状の突起を有するが脱落しやすく、標本では一部の突起が失われた。

NUDIBRANCHIA 裸鰓目

Doridina ドーリス亜目

Goniodorididae ネコジタウミウシ科

Goniodoris castanea Alder & Hancock

ネコジタウミウシ

YCM-H8970; 第 3 図; 080312; 潮間帯の岩礁上で体長約 15 mm の個体が採集された。

Okeina pellucida Burn

セスジイバラウミウシ

YCM-H8969, YCM-H8972, YCM-H8973; 第 4 図; 060805, 060907, 070713; 調査水域では 2006 年 7 月以降、夏～秋季にコケムシ動物のホンダワラコケムシの群体上で普通に観察された。第 4 図は干潮線直下のホン

ダワラコケムシ群体上から得られた体長約 10 mm の個体 (YCM-H8969)。

Gymnodorididae キヌハダウミウシ科

Gymnodoris alba (Bergh)

アカボシウミウシ

YCM-H8971; 第 5 図; 070412; 水深 1 m の転石下から体長約 15 mm の個体が採集された。

Gymnodoris citrina (Bergh)

キヌハダモドキ

YCM-H8966; 第 6 図; 060623; 水深 2 m の転石上で体長約 20 mm の個体が採集された。

Dorididae ドーリス科

Doriopsis granulosa Pease

キイロクシエラウミウシ

YCM-H8954; 第 7 図; 060922; 水深約 2 m の岩礁から体長約 25 mm の個体が採集された。

Rostanga risbeci Baba

クロイソウミウシ

YCM-H8974; 第 8 図; 090524; 潮間帯の岩礁上から体長約 20 mm の個体が採集された。

Dendrodorididae クロシタナシウミウシ科

Dendrodoris guttata (Odhner)

ヒメマダラウミウシ

YCM-H8965; 第 9 図; 060623; 水深約 2 m の岩棚から体長約 30 mm の個体が採集された。

Aeolidina ミノウミウシ亜目

Flabellinidae サキシマミノウミウシ科

Flabellina rubrolineata (O'Donoghue)

セスジミノウミウシ

YCM-H8967; 第 10 図; 060623; 水深約 1.5 m の岩礁上で体長約 15 mm の個体が採集された。本種は相模湾沿岸のスキューバ潜水において水深 10 m 以深では普通に観察されるが、浅所に現れるのは稀。

Flabellinidae gen. sp.

サキシマミノウミウシ科の 1 種

標本資料なし; 第 11 図; 050902; 水深約 2 m の岩礁で体長約 10 mm の個体が撮影された。本種はサキシマミノウミウシ *Flabellina bicolor* (Kelaart) によく似るが、サキシマミノウミウシでは触角が淡橙色～褐色で口触手が白色で櫛状の密な髪を有し、背側突起には先端付近で最も色の濃くなる橙色の輪状斑があるのに対し、本種では触角が淡紫色で環状の疎な髪を有し、口触手は黄褐色、背側突起の橙色輪状斑は基部で最も色が濃くなる。本個体は前報の調査期間中に採集されたが、発表時には分類学的検討が未決であったことから掲載を見送られた。本個体と形質の一致する既知種がなく、未記載種の可能性がある。



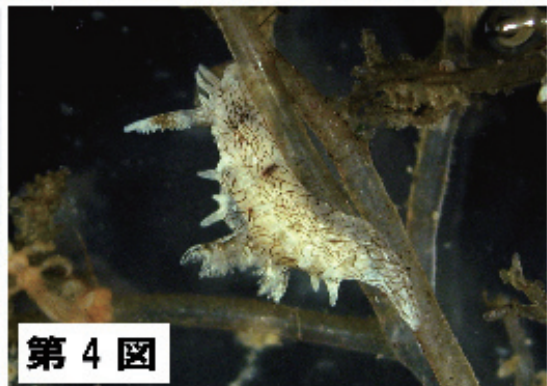
第 1 図



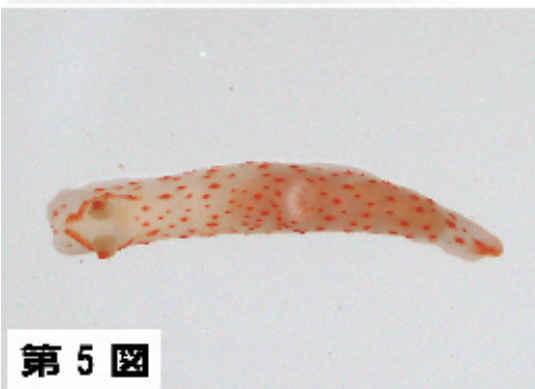
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

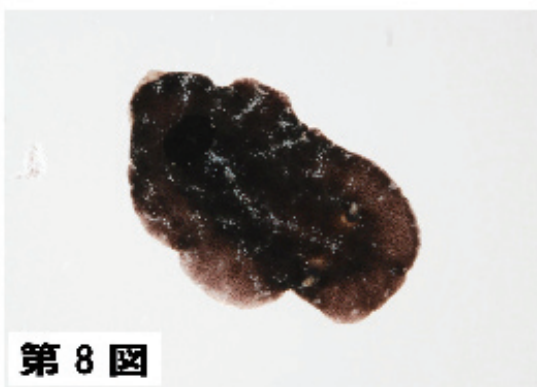


第 6 図

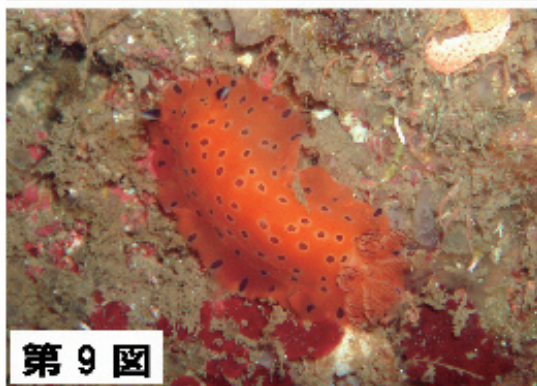
- 第 1 図 *Chelidonura hirundinina* (Quoy & Gaimard) ニシキツバメガイ, 体長約 25 mm, 2007 年 8 月 4 日撮影.
 第 2 図 *Pleurobranchus forskalii* (Rueppell & Leuckart) ゼニガタフシエラガイ, 体長約 70 mm, 2006 年 9 月 22 日撮影.
 第 3 図 *Goniadoris castanea* Alder & Hancock ネコジタウミウシ, 体長約 15 mm, 2008 年 3 月 12 日撮影.
 第 4 図 *Okeina pellucida* Burn セスジイバラウミウシ, 体長約 15 mm, 2006 年 8 月 5 日撮影.
 第 5 図 *Gymnodoris alba* (Bergh) アカボシウミウシ, 体長約 20 mm, 2007 年 4 月 12 日撮影.
 第 6 図 *Gymnodoris citrina* (Bergh) キヌハダモドキ, 体長約 15 mm, 2006 年 6 月 23 日撮影.



第 7 図



第 8 図



第 9 図



第 10 図



第 11 図



第 12 図

第 7 図 *Doriopsis granulosa* Pease キイロクシエラウミウシ, 体長約 25 mm, 2006 年 9 月 22 日撮影.

第 8 図 *Rostanga risbeci* Baba クロイツウミウシ, 体長約 20 mm, 2009 年 5 月 24 日撮影.

第 9 図 *Dendrodoris guttata* (Odhner) ヒメマダラウミウシ, 体長約 30 mm, 2006 年 6 月 23 日撮影.

第 10 図 *Flabellina rubrolineata* (O'Donoghue) セスジミノウミウシ, 体長約 15 mm, 2006 年 6 月 23 日撮影.

第 11 図 Flabellinidae gen. sp. サキシマミノウミウシ科の 1 種, 体長約 10 mm, 2005 年 9 月 2 日撮影.

第 12 図 *Herviella affinis* Baba ゴマフミノウミウシ, 体長約 10 mm, 2006 年 6 月 23 日撮影.

Glaucidae アオミノウミウシ科

Hervilla affinis Baba

ゴマフミノウミウシ

YCM-H8968; 第 12 図; 051005; 夏～秋に水深約 1 m の岩礁に付着したウミシバ科 Sertulariidae のヒドロ虫群体上で頻繁に観察された。観察個体の体長は最大で 12 mm ほどの小型種であること、観察が困難な波あたりの強い干潮線直下に生息していることなどから、前報の調査では見落とされていた可能性がある。写真は 2006 年 6 月 23 日に撮影された体長約 10 mm の個体。

考 察

今回報告した追加 12 種のうち、セスジイバラウミウシとゴマフミノウミウシを除く 10 種 (83.3%) は観察例が 1 例のみの稀な種であり、前報における 1 例のみの観察例が出現種 91 種中 24 種 (25.5%) であるのに比べ高比率となっている。このことは調査水域に出現する普通種の大部分が前報で観察されていた結果、新たなものとしては遇来種が単発的に記録されたものと考えられる。

しかし、セスジイバラウミウシは濱谷 (1986) が相模湾産の個体を報告して以来、専食するホンダワラコケムシ *Zoobotryon pellucidum* Ehrenberg (外肛動物門 ECTOPROCTA, フクロコケムシ科 Vesicularidae) の急増とともに相模湾では普通となった種である。本種は調査水域において 2005 年まで確認されていなかったが、2006 年 8 月に多数の個体が岩礁に付着したホンダワラコケムシ上から見つかり、以降は毎年 7 月～9 月に普通に見られるようになった。倉持ほか (2009) は、ホン

ダワラコケムシを北米より導入した外来種とし、ホンダワラコケムシの分布密度の上昇がセスジイバラウミウシおよび同属のシロイバラウミウシ *Okeina japonica* Baba, ムツイバラウミウシ *Okeina distincta* Baba の個体数増加に影響しているとしている。外来種は導入とともに急激な個体数の増加と分布の拡大を示す場合が多い (日本生態学会編, 2002) ことから、ホンダワラコケムシを餌とする後鰓類相に大きく影響する可能性がある。今後、ホンダワラコケムシとイバラウミウシ類の動向には注意深く観察を続ける必要があるだろう。

引用文献

- 濱谷 巖 1986. ドーリス目. 奥谷喬司編, 決定版生物大図鑑 貝類: 220-227. 世界文化社.
- 萩原清司 2006. 横須賀市天神島・笠島周辺海域の後鰓類 (軟体動物: 腹足綱). 横須賀市博研報 (自然), (53): 19-32.
- 倉持卓司・倉持敦子・増倉加津雄 2009. 相模湾から採集されたイバラウミウシ属 (軟体動物門: 裸鰓目: ネコジタウミウシ科). 神奈川自然誌資料, (30): 37-40.
- 中野理枝 2004. 本州のウミウシ. 304 ページ. ラトルズ.
- 日本生態学会編 2002. 外来種ハンドブック. xvi + 390 ページ, 4 図版. 地人書館.
- 奥谷喬司編 2000. 日本近海産貝類図鑑. 1173 ページ. 東海大学出版会.
- 小野篤司 2004. 沖縄のウミウシ. 304 ページ. ラトルズ.
- 生物学御研究所編 1949. 相模湾後鰓類図譜. 194 ページ, 50 図版. 岩波書店.
- 生物学御研究所編 1955. 相模湾後鰓類図譜 補遺. 60 ページ, 20 図版. 岩波書店.